

教育プログラム 到達レベル

ステップ	対象	目標	到達レベル	プログラム
ステップ I	新人	<p>職場への早期適応と看護実践者としての基本的能力を習得する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 専門職としての基本的態度を身に付け行動できる 2 疾患及び、病態の理解を深め、患者の問題点を挙げる事ができる 3 基本的な看護実践に必要な知識技術を理解し、安全・確実に実施できる 4 記録・データ等から患者に必要な情報を収集する事ができ、情報を整理する事ができる 5 患者の問題点を見出し、リーダーナースに適切に報告できる 6 急変時の知識・技術を習得し、実際の場面に対応できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 入職時オリエンテーション (表 1) 2 病棟オリエンテーション (表 2) 3 他部署体験 <ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡見学 ・手術室見学 4 書類による技術チェック・振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・実技チェック表 ・本日の出来事と結果 ・受け持ち患者の情報 A・B・C・D ・振り返り(今週・今月・期間) 5 院内勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・褥創対策・安全対策他 ・医療機器・業者による説明会 ・院長副院長による勉強会 5 院外研修 <ul style="list-style-type: none"> ・救急車同乗体験 ・本所防災館体験・消防署訓練見学 ・ナースプラザ・看護協会研修 急変時の看護・心電図の読み方 看護観察・バイタルサイン エンゼルケア 口腔ケア・スキンケア 摂食嚥下障害の看護
ステップ II	入職2〜3年目	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護実践者の基本的能力を基盤とし、患者個々の状態に応じ、対応実践できる能力を養う 2 看護実践者として、個別性を重視した看護の提供ができる 3 先輩ナースとして、後輩の育成に参加できる 4 リーダーナースとして、病棟全体を把握し、スタッフに指示を出せる。又、他部署との連携がとれる 5 院内研究に参加する 6 自己啓発をし、成長する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護過程を踏まえた個別的ケアができる 2 患者に必要な情報を目的を持って収集する事ができる 3 患者の自立・継続看護に向け、患者家族に適切な指導ができる 4 退院後の生活を考え、状況にに適したアドバイスができる 5 後輩の育成を通し、自己を振り返り成長する事ができる 6 チームプリセプターのプログラムにのっとり、後輩の育成ができる 7 リーダーナースの役割と責任を果たせる 8 院内研究に取り組み、まとめる事ができる 9 常に自己を振り返り、自分を理解し、成長できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 院内勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・褥創対策・安全対策他 ・医療機器・業者による説明会 ・院長副院長による勉強会 2 院外研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ナースプラザ・看護協会他 医療安全とリスクマネジメント コーチング・アサーション チームリーダー研修 院内教育・新人指導・プリセプター クレーム対応 医療訴訟と看護記録 褥創対策 災害看護 人工呼吸器装着患者の看護

ステップ Ⅲ	4 年 目 以 降	<p>I 病院・看護部の理念に沿った行動ができる</p> <p>2 患者を取り巻く家族や社会福祉を理解 看護の継続に責任を持つ</p> <p>3 自己の看護観を明らかにし発展させる</p>	<p>1 組織の一員である事を自覚し、病院 サイドでの考え方で行動できる</p> <p>2 患者背景を理解し、パラメディカルと 連携をとり、退院後の生活まで考えて 行動ができる</p> <p>3 自己を振り返り、問題点を明らかにし、 自ら発展する事ができる</p>	<p>1 院内勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・褥創対策・安全対策他 ・医療機器・業者による説明会 ・院長副院長による勉強会 <p>2 院外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナースプラザ・看護協会他 看護管理の基本 退院調整 コーチング・アサーション 院内教育・新人指導・プリセプター クレーム対応
ステップ Ⅳ	主任・ 師長	<p>1 管理職としての自覚を持ち行動する</p>	<p>1 病院・看護部の理念・ビジョンを理解し 行動できる</p> <p>2 所属部署の問題点を挙げ、改善策を 遂行できる</p> <p>3 スタッフの能力を見極め、適切に指導 できる</p> <p>4 所属部署の状況を把握し、的確に 指示が出せる</p> <p>5 他部署と良質な関係を築き、連携を とる事ができる</p> <p>6 病院経営に参画できる</p> <p>7 他施設との病病連携・病診連携 看看連携がとれる</p>	<p>1 院内勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策・褥創対策・安全対策他 ・医療機器・業者による説明会 ・院長副院長による勉強会 <p>2 院外研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナースプラザ・看護協会他 管理者の為の人材育成 医療安全管理者研修 感染管理セミナー 看護師の為のストレスマネジメント 看護職のメンタルヘルス ワークライフバランス